

**【対談】 ポートフォリオ・マネージャーに聞く！
運用経過と今後の見通しについて**

講 師： ハリス・アソシエイツ ポートフォリオ・マネージャー
ロバート・A・テイラー

聞き手： 大和証券(株) 投資信託部課長代理 大宮 由佳

Q1. 設定後、パフォーマンスが良くない要因は何ですか？

A1. 以下の組入れ銘柄の影響です。

(1) 欧州の金融関連

(2) アデコやラインメタルなどの一般事業銘柄

Q2. モデルポートフォリオもしくは既存ファンドでは、リーマンショック前の水準に戻っているのでしょうか？

A2. 代表的な指数は、リーマンショックの前のピークの水準に戻っていません。

Q3. 保有銘柄は現在、本源的価値からどれくらいの位置
ですか？

A3. 株価は本源的価値の45%程度です。

Q4. 欧州問題を踏まえて今後有望と考えられるマーケットはどこですか。また、今後も新興国は組入れないのですか？

A4. 特定の業種や国に基づいて投資している訳ではありません。個々の銘柄の本源的価値を重視します。

Q5. リバウンドの局面で、新興国よりも先進国銘柄中心の運用でアウトパフォームするのでしょうか？
またその根拠は？

A5. 先進国株式はエマージング国の株式より割安と考えます。

Q6. スイスのウエイトが高いのですが、スイス株が軟調な要因は何ですか？

A6. スイスフランの水準が高すぎるからだと考えます。

Q7. 下がっているときには株式は保有のままですか？
アグレッシブに入れ替えも行うのですか？
またポートフォリオの見直し時には損切りも行うのですか？

A7. 株価指数の動向と関係なく、運用します。
つまり……

Q8. 銘柄選定、ファンドのパフォーマンスを上げるのに欠かせない要因とは何ですか？

A8. (1) 優良な企業価値であるかどうか。
(2) 割安な銘柄であるかどうか。

Q9. 今後の見通しは？

A9. 現在の株価は本源的価値と比較して、歴史的に安い水準です。

Q10. ハリスの投資哲学が中長期投資においてインデックスを上回るという自信とその理由は何ですか？

A10. 当社の投資哲学に基づいた厳選投資を行うからです。いずれはベンチマークの成績を上回ることができると思っています。

Q11. 当初、買うタイミングにおいて厳選して株式を買い付けると聞いていましたが、設定後、すぐに94%の組み入れをした理由は何ですか？

A11. ハリスは相場タイミングを計った投資を実行しているわけではありません。